
家庭教師ヒットマンREBORN 仲間と共に

瀬島れん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

家庭教師ヒットマンREBORN 仲間と共に

【Nコード】

N3531BA

【作者名】

瀬島れん

【あらすじ】

未来から帰ってきたツナ達。

やっと平和な日々に戻る・・・と思った矢先、「私たちのボスを助けて下さい!」「んなああああ!?!」一人の少女がボンゴレ十代目ファミリーの前に現れる!しかも、「え、茲名!?!」「武!?!」え、この人山本の知り合いなの!?!
原作とは全くストーリーが違うので、覚悟してご覧ください!

1・銀髪の少女(前書き)

全く文才がないのに、勢いで1話目を書いてしまった瀬島です！

呼んで下さったら嬉しいです。

ちょっと、最初が暗いです！

苦手な人はごめんなさいいいい！

1・銀髪の少女

冬の真夜中

月の光に照らされて、きらりと光る長い銀髪

それをなびかせているのは、中学生くらいの少女。

「クスクス

弱い、よわーい」

そして、その少女によって

何人もの男達が殺されていた。

「ふう・・・

残ったのは、貴方だけみたいですね」

血の海の中に倒れる何人もの男。

一人だけ呻き声を上げている男に、返り血まみれの少女が近づく。

「す、すまなかつた！」

命だけは、命だけは取らないでくれっ！」

他のファミリーの奴にも、もうお前を追わせたりしない！

だからお願いだ、俺だけでも助けてくれ、見逃してくれ、殺さないでくれ……………

4

男が必死になって命乞いをするのを、無表情で見ている少女。

だが、

「…………仲間が死んでいるのに、自分だけ助かるうなんて嫌な人ですね、あなた」

死んで下さい

グサッ

「うああああ！」

少女の服に血が付くが、それをさして気にもとめず……

少女は微笑んで言った、

”さようなら”

1・銀髪の少女（後書き）

どうだったでしょうか？

もしこんな駄文を気に入って下さる方がいたら
これからもよろしくお願いします！

2・誰かの声（前書き）

2話目です！

どいどい、い賢くだちら

2・誰かの声

冬の朝

はちみつ色の髪の毛の少年が学校に向かって道路を歩いていった。

「んー・・・」

いい天気だけど・・・寒いな」

そのはちみつ色の髪の毛の少年、沢田綱吉はサクサクと少し積もった雪を踏みしめながら学校への道を歩く。

「（この前まで未来にいたのが嘘みたいだ・・・）」

未来から帰ってきてきて少し経ち、冬になった。

帰ってきてからは、ツナが望んでいた普通で平和な毎日が過ぎている。

「平和だなあ・・・」

リボンと出会ってから、ささいな休息でも幸せで平和だと感じる。

「お前はもうすぐボンゴレ十代目になるんだ

平和な日々なんて無くなるからな、覚悟しとけよ？」

この前、リボンに言われたひと言が心に重くのしかかるが・・・

今はこの平和な日々を楽しもうじゃないか！

”へえ・・・”

あれが、沢田綱吉か・・・”

「誰だ・・・っ!？」

急に後ろで声があったような気がしてツナは勢いよく振り返る。

だが、後ろには誰もいない。

「・・・空耳かな？」

ツナはさして気にもせず、そのまま学校に向かった。

2・誰かの声（後書き）

どうだったでしょうか・・・？

誤字脱字などがあれば教えて下さい！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3531ba/>

家庭教師ヒットマンREBORN 仲間と共に

2012年1月9日22時46分発行